

声 明

大学医学部および附属病院の教職員の皆様へ

新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、人類に対する大きな脅威となっています。日本国内においても感染者が急増しており、重症者、死亡者も感染者の増加にともなって急速に増加しております。患者の命を守る医療現場が機能不全に陥る状態、いわゆる医療崩壊はぜひとも防がなければなりません。さらに、新型コロナウイルス感染症以外の疾患に罹患している患者の治療も同時に行っていく必要があります。このためには、新型コロナウイルス感染症の患者の治療に当たる医療関係者のみでなく、すべての医療関係者が一致協力してこの難局に当たる必要があります。

医療崩壊を防ぐためには、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ必要があります。クラスター（集団感染）の発生を防ぐ必要があります。そのためにはすべての人が3つの「密」（密閉、密集、密接）を避ける行動を徹底することが必要不可欠です。先般、命を守る医療の最前線に立つ大学医学部附属病院において、会食を行わないようにとの病院当局の再三の注意にもかかわらず研修医が多数で会食をし、多くの方が新型コロナウイルスに感染していることが確認されるという事案が発生しました。医学に携わるものの行動として極めて遺憾であり、関係者の猛省を促します。

全国の医学部および附属病院で診療、医学教育及び研究の最前線で働く教職員の皆様へ、改めて、命を守る医療人としての自覚をもった行動をすること、そして、若い医学生、臨床研修を行っている医師等へのご指導を強くお願い申し上げます。

令和2年4月9日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

会 長 山下 英俊